



# 森ボラ 通信

第182号 2017年7月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## トピックス

### ◆ 播種・植栽をして、森を歩き、薪割り・窯入れを体験する！

#### 2017年親子森林教室・森しり隊の第3回活動報告

第3回目の親子森林教室：

森しり隊が6月18日（日）に、緑を増した澄川都市環境林で開催されました。昨年度は雨で中止となった第3回目ですが、今年は快晴で迎えることができ、子どもたち12名と保護者9名、協会員13名、総勢34名が参加しました。

朝礼とラジオ体操を終え、先ずは「木を育てる方法・種子散布・植栽作業」について学びました。説明役の市山さんは手作りのボードを2つ用意し、地拵えからツル切りに至る6段階の作業工程を、使用する道具を示しながら説明しました。また、播種の3つの形態と植栽の仕方を、順序を追って身振り手振りで解り易く説明しました。

これが終わると、次は実際に「播種作業」と「植栽作業」



木を育てるいろいろな方法を学習

の体験です。皆で駐車場脇のハルニレの大木の下に行き、設置してあるシードトラップから種を拾って苗畑に播きました。昨年度は何故か種が不作で結果的に2本しか芽が出ませんでした。今年は大丈夫そうです。

次は植栽作業です。苗畑からクリ、ヤチダモ、アオダモ、クルミ、ハルニレ40本のポット苗と鍬をリヤカーに積んで皆

でC1地区に運びました。昨年秋に植栽した場所の奥側に、親子共同で一人3～4本の木をしっかりと植えることができました。

昼食・休憩後の午後一番の活動は「森を歩いている学習」です。出発する前に説明役の酒井さんは今日の森歩きの課題は「適地適木」、「カワニナ」、「希少種」の3つであると告げました。小屋前を出発して、C地区でギンリョウソウと川の始まりを観て、キャリコ橋付近ではミズナラやシラカンバは山の高いところに、ヤナギやヤチダモは低い湿ったところを好んで育つと酒井さん・本郷さんが説明しました。そこから下流橋に下り、右精進川からカワニナを捕って観察しながらホタルとの関係を佐野さんが説明しました。次に樹木園のヤマシャクヤクとC1地区の雪解け沼に生息するエゾサンショウウオの幼虫を観察し、希少種について学びました。エゾサンショウウオでは、春先の卵から現在の幼生までの成長過程を写真で示しながら、実際にも3cmほどになった幼虫を捕獲して観察しました。



植栽は親子共同作業

小屋前に戻り、次の活動は薪割りと窯入れ作業の体験です。説明役の荒船さんは完成した炭を見せながら炭の活用や間伐から始まる炭焼き作業の流れを先ず説明し、実際に薪割り機で一人ずつミズナラの薪割りを体験しました。そして皆で積んで乾燥させた

#### 第3回 活動スケジュール

9:35	朝礼・ラジオ体操
9:45～10:00	木を育てる方法等の学習
10:00～10:15	播種作業
10:15～11:15	植栽作業（親子共同作業）
11:15～12:12	昼食・休憩
12:12～13:50	森を歩いて学習
13:50～14:20	薪割り・窯入れ作業
14:20～14:35	みんなでまとめ・解散



拾ったハルニレの種を播種

薪を炭焼窯まで運び、窯の一段目の薪入れをカケヤを振るって行いました。この窯は次回に火入れをして炭焼きをする予定です。

最後に皆で今日体験したことを振り返りながらまとめをしました。楽しかったことを聞いたところ、薪割り・窯入れとの答えが即座に返ってきました。薪割り機の威力を目の当たりにし、皆で力を合わせて薪運び・窯入れをしたことが楽しかったよう



です。そして次回の予定を連絡して終了しました。今回は概ねスケジュール通りに進めることが出来、参加した親子も一日の諸活動に満足してもらえたようです。次の第4回目は7月23日(日曜日)で、下草刈り体験と木を使った“ものづくり”ホテル観賞等を行います。(文・清澤)

## ■ 活動報告

### ◆(株)かんぽ生命保険の「森林の育成・保全支援」の寄付目録贈呈式に臨んで



7月4日かんぽ生命保険札幌支店の会議室にて寄付目録の贈呈式に市山と荻田の2名で行って来ました。昨年に続いてのご支援となりました事は札幌市澄川都市環境林での「学びの森の整備事業」が評価されたと感謝いたしております。

田畑支店長様から目録贈呈の後、この助成の主旨のご説明と全国から32団体が選ばれ北海道では我が協会が選ばれたとの事を含めてご挨拶がありました。又、こちらからは寄付助成のお礼とこの事業

に対する2016年度の活動報告及び2017年度活動計画の報告とB-7区に設置したかんぽ生命保険の「学びの森の整備事業」の看板付近に植栽地を準備しているため、社員、ご家族の皆さんで植樹活動を行って頂きたいと提案しました。「森林の育成・保全支援」事業は2014年からかんぽ生命保険の総合案内及び定款を書き記した分厚いパンフレットをWeb閲覧に移行して節約出来た紙代を寄付事業に充てているとの事です。(文・事務局)

### ◆CGC 烏柵舞の森でアカエゾマツの高木移植

チャランケの丘のアカエゾマツの高木は植栽後6年経ち間引きが必要になってきました。もったいないので造園に詳しい千歳市の水正さんとも相談して前のバス駐車場跡地に間引いたものを移植することになりました。5月8日14本すべて蒸散制御のため力枝から下の枝葉を落とし1本を試験植栽し残り13本は23日移植しました。植栽列はチャランケの丘のすぐ前で2m×4m間隔とし偶然ながら背の高い木が中央に配置することとなり景観的にも美しいものとなりました。

これは造園屋さんの仕事なので札幌市みどりの推進部の植栽仕様(協会ホームページアーカイブズに掲載)に従った径と深さで鉢に掘りとり植穴にはピートモスの土壌改良剤を混ぜて植栽しました。植栽後は八掛け支柱を立てて灌水しました。

この支笏湖国有林の火山礫土壌は通常の植林でも大変難しくまた高木植栽はコンサドーレの記念樹で失敗しており大変心配で水正さんには後日の灌水をお願いしております。

(文・酒井)



## ◆澄川南小学校 3 年生環境林訪問

生憎の小雨模様でしたが6月26日(月)3年生51名は3名の先生の引率で初めて環境林を訪れました。少し大き目の黄色いヘルメットを被り、森を元気に散策してくれました。

この秋に自分たちのマイツリー選定する場所(A-1)にある12,3種類の樹木に付いては高野さん、石川さんが担当し木の名前に始まり葉っぱや樹肌の特徴を丁寧に説明して呉れました。いろいろな角度からその特徴を写真に収めたり、大切なことは観察ノートに書き記していました。

学校へ戻ったら植物図鑑で確認する事を約束して美味しい給食の待っている教室へ戻りました。この子たちは2月27日に紅桜公園で冬芽観察やしり滑りの体験活動をお手伝いした経緯もあり孫と接する様な気持ちでお互い和気あいあいとした時間を過ごしました。(文・事務局)



## ◆豊平川現地セミナーに参加して

5月13日午後16名の参加で地質学者宮坂氏による豊平川巡検セミナーがありました。



新善光寺に集合し簡単に明治初期からの豊平川の歴史を学び創成川の出发点を皮切りに、南7条橋から豊平橋を望み河原に下りて広い普段なじみの薄い河川敷を歩き上流の南19条橋まで強風の中増水した川音を聞きながら歩きました。

この川は大正2年と昭和56年に記録的な豪雨があり人的被害と共に川自体も大きな変貌を見せました。川は水量や速さの変化により中州が出来たり蛇行して川筋が変わったり河畔林が形成されたり池が出来たりします。聞きなれない専門用語の河川争奪やインブリケーションが起こり礫の大小による砂州の構造の説明もありました。河畔林の樹齢により砂州の年代も分かります。

南19条橋近くに鴨々川の取水口がありました。この川は護国神社、中島公園薄野を抜け創成川となり伏古川に合流して石狩川に入ることを知りました。このセミナーで川の特質を知り川との付き合い方が拡大したのが収穫でした。(文・加藤)



## ◆有明の黒松内方式植樹の結果は？

6月14日有明第二環境林植栽の準備時に、昨年黒松内方式にて植栽(仮称、森ボラ174号に掲載)した幼樹の状態を調べてみた。有明の根曲がりダケは黒松内のササと比べ約2.5~3倍の高さ(約3m程)で密度も濃く、人



が分け入るのも難しいため、刈り払い機を使用し40~50cm幅の列を作り、ミズナラ15本、赤エゾマツ5本を植栽している(白い点線の○)。

地拵えしたところにミズナラ、ニレ



等の広葉樹を植えた場合はほぼ全面的にシカの被害うけているが、この方式では頑固な根曲がりダケに邪魔されてかシカの被害も無く、また折れ、倒れ等の雪の被害も無く良好の結果であった。ただ、一部に雪の影響を受けたと思われる根曲がりダケの被覆が見られ除去を必要とするが、この点を改善していけば、十分にシカ対策を兼ねた省力植栽法になるとと思われる。(文・和田)

## ■今月の幹事会

出席者：市山・荻田・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・西野・矢澤・和田

1. 2017年8月、9月スケジュール・・・幹事会8月3日(木) 13:30~15:30  
納涼会大通6丁目ケヤキ下 16:30から納涼会
2. 第4回親子森林教室に向けて・・・7/11 シミュレーション&マニュアル作り(石川、荒船、高野、樫棒、田山、西野(澄)、和田、佐野)
3. 2017年度森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・モニタリング調査地(澄川3か所、有明2か所)
4. 青少年科学館 守屋開先生澄川環境林視察(7/1)・・・水性生物、水質検査実施  
環境省水環境1000里地モニタリングに応募 札幌市役所みどりの課の現地視察依頼中
5. 落枝注意看板・・・落枝注意の看板(高野さんがデザイン)を危険個所に設置
6. 活動報告  
7/12 藻岩山幌南の森・・・責任者樫棒さん、荒船さん  
7/20・21 ぶんぶんの森・・・下草刈り、北海道新聞社中村氏21日視察
7. 委員会報  
広報委員会・・・木の里親募金2017年度期末まで継続  
助成委員会・・・トム・ソーヤスクールコンテスト助成、ローソン緑の募金事業助成決定
8. その他  
・かんぼ生命保険寄附目録贈呈式(7/4)・・・B-7にかんぼの皆さんの為の植栽場所開墾  
・2017年6月会計報告

## ■活動履歴

月 日	行事・活動地	参加数	活動内容
6月18日(日)	澄川	13	第3回親子森林教室(播種・植栽・薪割・炭窯材充填他)
6月20日(火)	澄川	20	多面対策モニタリング調査区3か所設置
6月22・23日	烏柵舞の森	16/16	植栽列、作業道下草刈り・シラカンバ間引施業毎木調査
6月26日(月)	澄川	13	澄川南小学校3年生林内散策、
6月27日(火)	有明	10	アカエゾマツ、ミズナラ植栽・林道下草刈り
6月29日(木)	澄川	15	E地区、B地区、駐車場のした草刈り
6月30日(金)	野幌森林公園	9	No.9,10 生長調査・ツボ刈り
7月1日(土)	澄川	5	右精進川の水性生物調査及び水質検査(守屋先生)
7月3日(月)	澄川	15	苗畑整備・澄南小のマイツリー地下草刈り
7月5・6日	コンサの森	15/14	植栽列、下草刈り・生長調査
7月7日(金)	ラルズビル	11	幹事会
7月8日(土)	澄川	9	B-7下草刈り及び地帯え(かんぼ生命保険植栽地用)
7月11日(火)	澄川	14	E-3地区で製材(5枚)・親子シミュレーション
7月12日(水)	藻岩山幌南の森	8	遊歩道下草刈り完了・傾斜木や危険木は特に無し